

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和3年4月16日（金）

### 2 確認箇所

3号機タービン建屋

### 3 確認項目

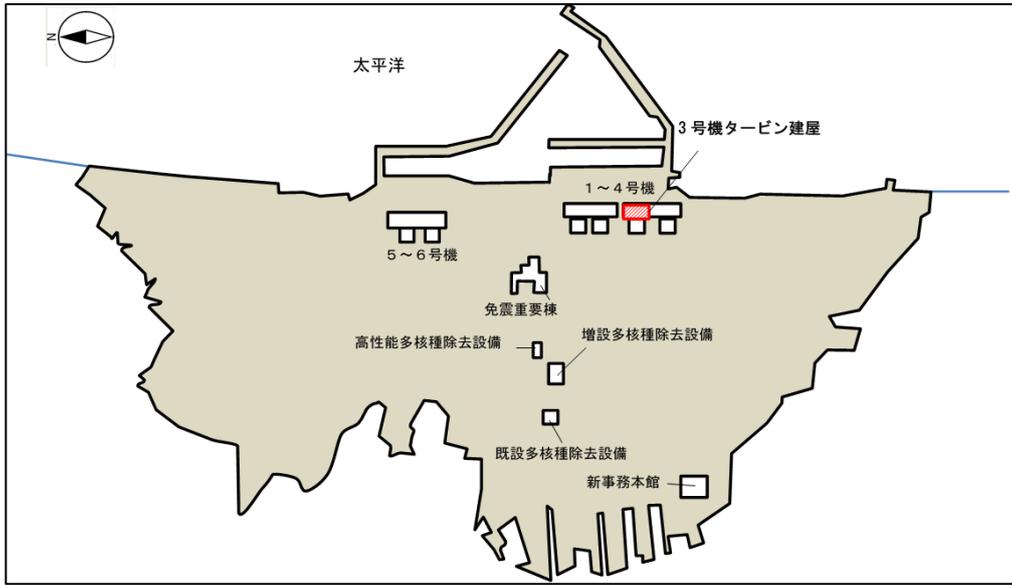
3号機原子炉注水停止試験に伴う注水流量変更操作時の確認

### 4 確認結果の概要

2月13日23時08分の地震により3号機原子炉格納容器（以下「PCV」とする。）水位低下傾向が生じたことを踏まえ、原子炉注水の一時的な停止によるPCV内の水位低下の傾向や、温度上昇を確認することを目的として、4月9日より3号機原子炉注水停止試験が実施されている。

本日、7日間の注水停止期間を終えて原子炉注水が再開されることから、3号機タービン建屋内における注水再開作業の現場確認を実施した。（図1）

- ・注水開始作業は、現場にて漏えいや異常がないことを確認して、ポンプを起動し、流量調節弁を開操作することで流量を増加させていた。（写真1）
- ・注水再開作業のポンプ及び流量調節弁の操作は基本的に集中監視室から遠隔操作で実施されていた。現場では弁開度やポンプ稼働状況、漏えいがないことの確認を行い、集中監視室と随時連絡を取りながら作業を進めていた。（写真2）
- ・原子炉注水流量が一定量まで増加したところで集中監視室からの操作を停止し、流量調節弁の電源を落として手動で弁の開度を調節していた。現場の流量調節弁の開度と集中監視室で確認できる原子炉注水流量の情報を互いに共有しながら原子炉注水流量が $3.0\text{m}^3/\text{h}$ になるように弁を操作していた。（写真3）
- ・東京電力によると、現在は炉心スプレイ系単独で $3.0\text{m}^3/\text{h}$ を注水しているが、4月23日に原子炉注水停止試験以前と同様の炉心スプレイ系 $1.5\text{m}^3/\text{h}$ 、原子炉注水系 $1.5\text{m}^3/\text{h}$ の注水に変更する予定とのこと。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
ポンプの状態を確認する様子



(写真2-1)  
開度計を確認する様子



(写真 2 - 2)  
集中監視室と連絡を取る様子



(写真 3)  
手動による弁操作

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。